



素晴らしい絆を感じて



生徒のみなさんへ

● 第45回卒業証書授与式 ●

3月8日、たくさんの保護者の方々に見守られながら第45回卒業証書授与式が行われました。コロナなどの影響が残る中であっても、今出来る可能な限りの準備をして3年生の皆さんを送り出してあげたいと、在校生の皆さんと職員とで力を合わせ、式場の準備や教室、校内の清掃、飾りつけなどを心を込めて行いました。これまで3年生の想いを受け取った皆さんの誠意や思いやり、感謝の気持ちが伝わってくるような素晴らしい準備でした。



式中の送辞では、在校生代表として〇〇生徒会副会長が「私たち在校生は先輩たちが我が校で創り上げたものを受け継ぎ、悔いのない学校生活を送るため、一層精進していきたいと思います。」と、3年生が後輩たちに示してきた思いやりや絆の思い出とともに、これからの決意を力強く述べました。続く答辞では、卒業生代表として〇〇前生徒会長が「これからも思いもよらない壁にぶつかることもあるかもしれませんが。そんな時はこの湯川中学校で学んだことを思い出し、しっかりと前を向いて、今できる最善なことは何かを考え、乗り越えていきたいと思います。どんな時も『最後まで全力を尽くす』ことを誓います。」と、これまでの3年間の取組に思いを馳せながら、これからも挑戦し続けることをしっかりと宣言しました。

式終了後には、学年合唱が披露されました。取組はこれまで、さまざまな影響から全員で行なえたのはほんの数回でしたので、ハーモニーを創り上げることはとても難しかったことと思います。そんな制限があったにもかかわらず、3年生の歌声は、迫力のある美しいハーモニーが奏でられました。3年生のこれまでの想いや大きな絆などが感じられる、大変素晴らしい合唱でした。



最後の学活では、卒業生一人一人が友人、先生、家族に向けて言葉を贈ったり、自分自身について語ったりと、どの学級も笑いあり涙あり、心地よい温かな雰囲気にも包まれた心に残る時間を過ごせていました。

これまで、三年生を送る会の準備や運営、プレゼントづくり、体育館の準備、校舎内外の徹底した清掃、教室の飾りつけなどを、自分のことのように熱心に取り組んだ在校生の皆さんと、式当日まで準備や手伝い、参加など、一生懸命に式を支えてくれた生徒会執行部と代議委員の皆さんに心から感謝します。きっと、これまでの3年生のさまざまな想いをしっかりと受け止めていたからこそその行動だったと思います。おかげで、参列者全員の心に、素晴らしい記憶としていつまでも残る卒業式になりました。本当にありがとうございました。



● 挑戦を支えるもの ●

コロナの時代も4年目がもうすぐ終わります。この間、私たちは「絆と感動」のスローガンのもと、逆境の中にあっても、今できることを探し、挑戦を続けてきました。これからも失敗を恐れるのではなく、失敗した先にある自分や仲間の成長に目を向け、挑戦を続けることを大切にしてください。

しかし、どうしても失敗することは怖いので、挑戦することはなかなか勇気がいることです。そのような時、失敗しても励ましてくれたり応援してくれたりする仲間がいたら、勇気をもって挑戦することができます。人とのつながり・絆が、挑戦しようとする私たちの背中を押してくれるのです。

では、あなた自身は今、そのようなつながりを十分に感じる事ができていますか？ 今後も湯川中に必要なものは何か。それは、お互いがつながりを 感じられる体験、そこから得られる感動だと思います。つながりが感じられないのをコロナのせいにすれば簡単かもしれませんが、確かに行事などが制限され、つながる機会は減りました。ならば、つながりを実感できるようにするためには、どうしたらよいのでしょうか。そのカギは、私が修了式で話したエピソードの中でも少しふれました。

高校のエピソードでは、挨拶のもつ素晴らしい効果について紹介しました。「元気よくみんなて挨拶を交わす」たったこれだけで、場の雰囲気は一気にポジティブなものに変わります。例えるならば、灰色にくすんだ風景が、一瞬で鮮やかな居心地の良い場になるかのようなのです。このような空気・雰囲気の中にいると、「こんな仲間がいたら私もやってみよう」という気持ちが、きっと自然とわいてくるでしょう。

私は毎朝、北門で交通整理をしながら皆さんに挨拶をしていますが、3年生が卒業すると生徒の皆さんから返ってくる挨拶は、元気が少なくなったように感じられます。また、挨拶しない、目を合わさない人もいることが気がかりです。「人と関わることは面倒で苦手」「できれば関わらないで欲しい」・・・確かに一人である方が気を遣わなくて楽です。他の人とつながりをもとうとすると、当然、気を遣います。疲れるという人もいるでしょう。けれども、人とのかかわりをわずらわしいものにとらえるのではなく、皆がほっと安心できる場や、いろんなことに挑戦できるような心地よい場所を作るための第一歩として、まずは挨拶を交わすことや、周りの人に声をかけることを大切にしてみてください。周りのことを大切にできるようになれば、きっと自分のことも、本当の意味で大切にできるようになります。この湯川中を、皆がつながりを感じられるような、そして、皆が互いを大切にできるような場所にしていってほしいと願っています。

4月に入学してくる新1年生は、きっと不安を抱えて入学してきます。そんな後輩の不安を取り除くためにも、「こんな声をかけてみよう」「こんな風に接してみよう」「『おはよう、元気？』と笑顔で挨拶してみよう」「『こうすればいいよ』とアドバイスしてみよう」「『大丈夫』と、一言励ましてあげよう」など、相手の身になって接してみてください。湯川中学校には、同じ思いで頑張っている先輩がたくさんいること、励ましてくれる仲間がたくさんいること、そんなつながりがある場所だということを、ぜひ、伝えてほしいのです。絆をいつも感じられる、大切にできる学校、とても素敵だと思います。

保護者の皆さまへ

- 今年度もコロナ等の影響から、様々な教育活動・取組等に大きな変更を行いながらの学校運営となりました。そのような中、保護者の皆様、地域の皆様から本校の取組にご理解とご支援を賜りましたこと、また、様々な変更柔軟にご対応いただきましたこと、深く感謝申し上げます。誠に有難うございました。次年度も、子どもたちの健やかな成長を支えるため、皆様と連携を深めながら取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

- 離任式についてのお知らせとお願い

本日、修了式後に職員の離任式を行いました。これまでと同様、次年度に本校を転出する職員の紹介に留めております。異動先や本校へ新しく着任する職員の名前などは、4月1日付の報道発表をもって公表されますので、新聞等をご覧ください。

- 今後の予定 ●

4月8日(月) 着任式、始業式(午前のみ) 9日(火) 午前:学年集会、学活、午後:入学式準備、弁当の日
10日(水) 第46回入学式(午前:代議員、生徒会執行部のみ参加)
11日(木) 1年生 課題テスト、学活、弁当の日、部活動見学開始(~19日) 12日(金) 給食開始、発育測定